

## (公財) 生命保険文化センター 大学研究者等による個票データ利用条件

利用対象者：大学研究者および教員の指導を受けた大学院生

利用目的：学術目的の二次分析、および教員の指導による教育目的に限る（商業目的では用いないこと）

利用期間：データが提供されてから1年間  
利用期間終了後は当該データを消去すること

申請手続：申請書を提出すること（共同研究の場合は、データを利用する可能性のある人全員が各自申請すること）  
ただし、申請書記載の誓約事項に違反する場合は、利用承認を取り消すとともに、今後の利用も停止する

学部学生の利用：学部学生のデータ利用は、教員による教育目的申請を通じて可能である。  
利用したいデータがある場合、指導教員の先生に相談をすること。データは、指導教員の先生から受け取り、データを利用すること。

教育目的で利用可能なデータ：

- ゼミナール等での論文作成指導
  - ・データは利用者が責任を持って管理すること
- 上記以外の講義での指導
  - ・データは教員が責任を持って管理し、受講生へのデータ配布や削除を行うこと
  - ・申請から3か月以内に、受講者の所属、身分、氏名のリストを提出すること

提供されるデータと形式：個票データ＝CSV形式および日本語版SPSSによるsav形式  
質問票＝PDF形式

以上